

# JFA 第 28 回全日本フットサル選手権大会東北大会 実施要項

- 1 名称 JFA 第 28 回全日本フットサル選手権大会東北大会
- 2 主催 一般社団法人東北サッカー協会 東根市サッカー協会
- 3 主管 特定非営利活動法人山形県サッカー協会、山形県フットサル連盟
- 4 協賛 株式会社モルテン
- 5 期日 2022 年 12 月 17 日(土)～18 日(日)
- 6 会場 東根市/東根市民体育館
- 7 参加資格
- (1)公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。))に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独チームであること。
  - (2)JFA に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル1種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手は、「フットサル 2 種」のみとし、「フットサル 1 種」年代の選手は適用対象外となる。
  - (3)第 1 項、または第 2 項のチームに所属する 2007 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
  - (4)外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
  - (5)都道府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。
  - (6)選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- 8 参加チームおよびその数
- 参加チームは、次の各号により選出された 15 チームとする。
- (1)第 19 回東北フットサルリーグ1部に加盟所属の 9 チーム
  - (2)東北各県より 1 チームの計 6 チーム
- 9 大会形式 ノックアウト方式で行う。第 3 位決定戦は実施しない。
- 10 競技規則 2022/2023 の JFA「フットサル競技規則」による。
- 11 競技会規定
- 以下の項目については、本大会で規定する。
- (1)ピッチ 原則として、40m×20mとする。
  - (2)ボール 試合球:モルテン製ヴァンタッジオ 4号ボール
  - (3)競技者の数  
競技者の数:5名  
交代要員の数:9名以内  
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
  - (4)チーム役員の数  
登録された役員の中から5名以内(ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6名以内とする。)
  - (5)競技者の用具  
①ユニフォーム  
(ア)フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を大会エントリー時に入力し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

- (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
  - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の選手番号のついたものを着用する。
  - (エ) シャツの前面、背面に大会登録票に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
  - (オ) 選手番号については、1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の大会エントリー時に入力された選手固有の番号を付ける。
  - (カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
  - (キ) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
  - (ク) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
  - (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
  - (サ) その他のユニフォームに関する事項については、JFAユニフォーム規程に則る。
- ②靴: キャンパスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白は無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのものを使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用不可)
- ③ビブス: チームは、ユニフォーム(シャツ)と異なる色彩のビブスを2色以上準備すること。交代要員は、競技者と異なる色彩のビブスを着用しなければならない。なお、コロナウイルスの感染対策として、交代時のビブスの受け渡しは行わないこととする。

(6) 試合時間

- ①1回戦及び準々決勝並びに準決勝: 30分間(各15分間からなる2つのピリオド)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは8分間(第1ピリオド終了～第2ピリオド開始)とする。
  - ②決勝は40分間(各20分間からなる2つのピリオド)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(第1ピリオド終了～第2ピリオド開始)とする。
- (7) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
- ①1回戦及び準々決勝: ペナルティーキック方式により勝敗を決定する。
  - ②準決勝及び決勝: 6分間(前後半各3分間)の延長戦を行い、決しない場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、ペナルティーキック方式に入る前のインターバルは1分間とする。

12 懲罰

- (1) 本大会の予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合において順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。

- (3)本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4)前項により出場停止処分を受けたとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5)本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、全国大会に出場するチームの選手にあっては、その大会において、全国大会に出場できないチームの選手にあっては、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6)その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会が決定する。委員長は、一般社団法人東北サッカー協会規律・裁定委員会の委員長とする。

### 13参加申込

- (1)1チームあたり26名(選手20名、役員6名)を上限とし、選手は本大会の予選となる東北各県大会登録していること。ただし、3名を上限に本大会の予選となる東北各県大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第6条に定める参加資格を満たしていなければならない。本大会の予選となる県大会に登録していない選手をエントリーするときは、選手変更届けを所属県協会に提出すること。各県協会は、本大会の予選となる県大会の大会登録票(PDF)を山形県協会へメール送信すること。選手変更がある場合は、これと同時に送信すること。
- (2)東北リーグ1部のチームは本大会の参加申込締め切り時点で東北リーグ1部に登録している選手の中から、参加申込みを行うことができる。
- (3)参加チームのエントリーはJFAのWEB登録システム「KICKOFF」により行うこと。
- (4)チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。
- (5)プライバシーポリシー同意書をKICKOFFの申込の際に添付する。なお、大会当日の持参は不要。
- (6)申込締切日:2022年 11月 25日(金)厳守
- (7)前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

### 14選手証

各チームの登録選手は、JFAが発行する選手証(写真が登録されたもの)を持参すること。選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

### 15組合せ

参加申込締め切り後、一般社団法人東北サッカー協会フットサル委員会で決定し通知する。

### 16 参加料

1チーム 20,000円(申込締切日までに、チーム名で指定の口座に振り込むこと。)

### 17 表彰

優勝、準優勝および第3位まで表彰する。優勝チームには優勝杯(持ち回り)、準優勝チームには準優勝盾を授与する。なお、優勝チームは、全国大会への出場の権利と義務を負う。

### 18 交通・宿泊

- (1)本大会は、すべてチームで負担する。
- (2)交通・宿泊の斡旋は行わないので、チームの責任において手配すること。

### 19 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

### 20 負傷対応

競技中の疾病や傷病等の応急処置は、チームの責任において対応すること。  
なお、主催者は一切の責任を負わない。

### 21 マッチコーディネーションミーティング(MCM)

キックオフ時刻の75分前に、両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを行う。チーム代表者(代理可)は、必ずマッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。なお、代表者会議は行わない。

## 22その他

- (1)試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5またはその時点のスコアがそれ以上であった場合はそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (2)ピッチレベルでの飲料は水のみとし、指定した場所での飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。
- (3)施設の利用規則を遵守すること。
- (4)宿泊及び弁当については、各チームで対応すること。
- (5)新型コロナウイルス感染症対策として、大会参加者及びチーム関係者の健康チェック表チーム(選手・役員・チーム関係者)用/利用者名簿に記載すること。
- (6)参加チームと選手は、JFAの基本規程および付属する諸規程(ユニフォーム規程等)を遵守しなければならない。詳細については、JFAホームページを参照すること。
- (7)本実施要項に記載のない事項については、一般社団法人東北フットサル委員会で決定する。